

令和 8 年 9 月 8 日
愛 媛 大 学

「映画『ノー・アザー・ランド 故郷は他にない』の上映と ドキュメンタリー写真家・森佑一氏講演会—ハマスによる イスラエル攻撃から 3 年の節目に—」を開催

愛媛大学人文学会・法文学部多様性研究会では、このたび「映画『ノー・アザー・ランド 故郷は他にない』の上映とドキュメンタリー写真家・森佑一氏講演会」を下記のとおり開催します。

このイベントは、イスラエル人とパレスチナ人の映像作家・活動家によって協同制作され、2025 年アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞を受賞した『ノー・アザー・ランド』を無料で上映し、併せて、映画の舞台となったイスラエルのヨルダン川西岸地区を取材された森佑一氏に、同地の現状や映画の背景などについてご講演いただくものです。

これにより、イスラエル人入植者や軍によるパレスチナ人への暴力や破壊、嫌がらせ、それに反対するイスラエル人ジャーナリストの存在、人々の暮らしの実情等について理解を深め、あらためて平和の価値について市民と共に考える、契機とすることを目的に実施致します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和 8 年 10 月 3 日（土） 13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟 A11 教室

（開場：13 時 00 分）

対 象：一般（中学生以上）

定 員：80 人

参加費：無料

参加申込方法：事前申し込み 不要

駐車場：無

公共機関のご利用をお願い致します。市電「赤十字病院前」から徒歩 5 分。

主催：愛媛大学 人文学会 共催：法文学部 多様性研究会

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学法文学部多様性研究会
諸田龍美
TEL：090-7629-5343
Mail：morota@ehime-u.ac.jp

※送付資料 3 枚（本紙を含む）



74th Internationale
Filmfestspiele
Berlin
Panorama

2024年ベルリン国際映画祭2冠
〈最優秀ドキュメンタリー賞&観客賞〉



各国の映画祭で早くも41賞獲得! アカデミー賞[®]最有力

(2024年12月9日現在)

ノー・アザー・ランド

故郷は他にない

監督 バゼル・エイドラ、ユーバル・アブラハム、ハムダーン・パラル、ラケル・ゾール

2024年 | ノルウェー、パレスチナ | アラビア語、ヘブライ語、英語 | 5.1CH | 95分 | 原題: NO OTHER LAND

日本語字幕: 額賀深雪 | 字幕監修: 高橋和夫 | 配給: トランスフォーマー © 2024 ANTIPODE FILMS, YABAYAY MEDIA



Directed, produced, written and edited by Basel Adra, Yuval Abraham, Rachel Szor & Hamdan Ballal

Director of photography Rachel Szor | Editing consultant Anne Fabini | Music Julius Pollux Rothlaender | Sound design Bård Harazi Farbu

Producers Fabien Greenberg & Bård Kjøge Rønning



それでも僕たちは
この現実を変えたい

破壊される故郷を撮影し続けるパレスチナ人青年と、彼を支えるイスラエル人青年
敵同士だったはずの2人の“命がけの友情”が生んだ奇跡のドキュメンタリー

2024年
アムステルダム
国際ドキュメンタリー映画祭
観客賞 受賞

2024年
ヨーロッパ映画賞
最優秀ドキュメンタリー賞
受賞

2024年
ニューヨーク
映画批評家協会賞
最優秀ノンフィクション映画賞 受賞

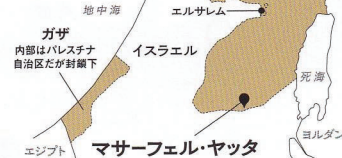
2024年
トロント国際映画祭
ドキュメンタリー部門
正式出品

2024年
ゴッサム
インディペンデント映画賞
最優秀ドキュメンタリー賞 受賞

★★★★★ 凄まじい衝撃に、心が震える — The Guardian



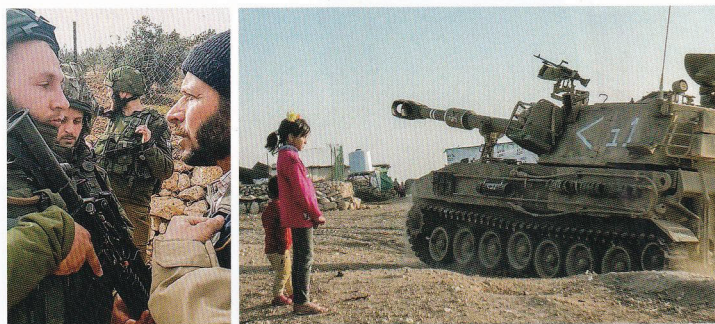
イスラエル軍による破壊と占領が今まさに進行している、ヨルダン川西岸のパレスチナ人居住地区〈マザーフェル・ヤッタ〉。そこで生まれ育った青年バゼルは、住民たちが目の前で家や小学校、ライフラインを壊され強制的に追放されていく故郷の様子を幼い頃からカメラに記録し、世界に発信していた。そんな彼のもとにイスラエル人ジャーナリスト、ユーバールが訪れる。自国政府の行いに心を痛めていた彼は、バゼルの活動に協力しようと、危険を冒してこの地にやってきたのだった。



パレスチナとイスラエル——立場を越えて手を取り合う ふたりの若きジャーナリストに、世界中が声援と喝采!!

「僕たちの映像で、占領終結を世界に訴えよう」——2023年10月までに渡り、彼らがスマートフォンや手持ちカメラで捉えた緊迫の映像によってパレスチナの不条理な現実があぶりだされていく。しかし、本作が映し出すのはその惨状だけではない。同じ年齢の青年2人が共に過ごし対話を重ねることで、政治的背景や立場を越えた「命がけの友情」が生まれる奇跡的な瞬間だ。彼らの姿は、「どうしたら人は分かり合えるのか?」という問いへの一筋の希望を、私たちに与えてくれるに違いない。

監督は、バゼルとユーバールを含むパレスチナとイスラエルの若き映像作家兼活動家の4人。ベルリン国際映画祭での上映後には観客席から割れんばかりの拍手が沸き起こるとともに、パレスチナへの連帯を示す声が瞬間に重なっていき大合唱へと発展。監督たちの力強い受賞スピーチも話題を呼ぶ一方、イスラエル擁護の姿勢を示すベルリン市長などからの激しい非難にさらされた。今なお世界中で大きな論争が続いているが、彼らは精力的に活動を続けている。



ノー・アザー・ランド 故郷は他にない

監督: バゼル・エイドラ、ユーバール・アブラハム、ハムダーン・バラール、ラケル・ゾール

2024年 | ノルウェー、パレスチナ | アラビア語、ヘブライ語、英語 | 5.1ch | 95分 | G

原題: NO OTHER LAND | 日本語字幕: 額賀深雪 | 字幕監修: 高橋和夫 | 配給: トランスフォーマー

© 2024 ANTIPODE FILMS. YABAYAY MEDIA

☒ @nootherland_jp https://transformer.co.jp/m/nootherland/



【無料】上映・講演会を開催 日時: 2026年10月3日(土)13:30~17:00(開場 13:00)参加費: 無料
場所: 愛媛大学城北キャンパス(文京町3番) 共通講義棟 A 11 教室 ※事前申込不要/プログラム
①映画上映「ノー・アザー・ランド」(95分) + ②講演会(60分) ドキュメンタリー写真家 森佑一氏